

Listening Thinking Collaboration Foresight

HAKODATE CHUBU HIGH SCHOOL

北海道函館中部高等学校

学校案内

〈全日制課程〉



ホームページを
ご覧下さい。



〒040-0012 北海道函館市時任町11番3号
電話 0138-52-0303 FAX 0138-52-0305
<http://www.kanchu.hokkaido-c.ed.jp>

INDEX

教育理念・中部の目指すもの	01
SSH 指定校	02
設置学科・進路支援	03・04
年間行事	05
1年生インタビュー	05・06
部局活動	06
進路状況	07

「今・ここ」から始める

——学校教育目標——

「高い志を持ち、次代を創造する人間の育成」

「不易流行」という言葉があります。決して変わることのない不易性と、絶えず変化する流行性があるものの、その根本に通じるものは同じものであるという意味です。函館中部高校の目指すものはこの言葉に象徴されています。

本校は道内屈指の伝統校として、創立以来128年間、高きを望んで止まらざる向上心、大地にしっかりと根を張る生命力、逞しい成長力を表す「白楊魂」を継承しつつ、「時代を切り拓く力」「世界に、未来に貢献する力」の育成のため、常に新しいことにチャレンジし続けています。

SSH(探究学習)→P2
設置学科→P3・4

3年次

2年次

1年次

文型

普通科
4クラス 160名

理型

理数科
1クラス 40名

医進類型

進路支援→P4・進路状況→P7

校風

- 伝統 ●自由闊達 ●自主自立
- 志高い生徒集団 ●落着いて学べる環境
- 多様な価値観との出会い

学校行事・生徒会活動→P5
部局活動→P6

函中コンピテンシー



傾聴力



思考力



協働力



先見力

3年間の学びによって身につけていく基本的な4つの力。自らの現状を認識し、降りかかる言葉の一つ一つを能動的に自らに当てはめる力「傾聴」。聴くことで芽生えた思いを思索に深めていく力「思考」。思考をつなげ、形として浮かび上げるために、多様な価値観の中に答えを求める力「協働」。真理を探りつつ、更に社会の広がる先を目指す力「先見」。まさに函中コンピテンシーは「MIRAI」へのパスポートとなります。

「MIRAI」のわたし

科学分野で活躍する人材を育てる



文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」は、先進的な科学技術、理数教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。全国で200校あまりが指定されており(渡島・檜山エリアでは本校のみ)、今年で本校は4年目を迎えます。研究課題「科学的リテラシーを備え、地域及び世界をイノベイトする科学技術系人材の育成」のもと、普通科・理数科共に探究活動に取り組んでいます。

高1

SS研究基礎

普通科(文型・理型)・理数科問わず全員が取り組む。「大沼国立自然公園」を学習教材に、「探究活動」をする上で必要な研究手法と研究発表方法を学ぶ。

SSH大沼環境調査の様子⇒



高2

SS研究発展 I

普通科・理数科問わず全員が取り組む。4月から12月までかけて個人またはグループで課題を見つけ仮説を立て、研究計画を練り、自らの仮説を検証する実験・調査を行う。研究計画の報告会、中間報告会を経て、研究成果はSSH課題研究発表会で発表する。

SSH課題研究発表会の様子⇒



高3

SS研究発展 II

普通科(理型)・理数科の生徒を対象に、自分たちの研究成果を研究論文としてまとめる。優秀な研究班は本校代表として、8月に兵庫県神戸市で開催されるSSH生徒研究発表会(全国大会)で発表する機会を得ることができる。

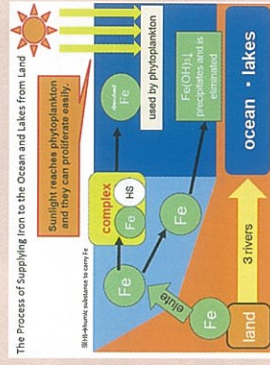
SSH生徒研究発表会の様子⇒



希望者

SS特講 I ～Ⅲ

放課後・夏季休業・冬季休業等の時間に、大学の施設訪問や講演会・道外研修等、普段の授業よりも応用・発展的に科学を学ぶことができる。また、研究成果を英語で発表(ポスター・プレゼンテーション・論文執筆)することで、世界に通じる科学リテラシー・英語力を養う。



大学教員から実験器具の扱い方を学ぶことができる

普段の授業よりもより発展的に学ぶことができる

SSH校や海外の学校とオンラインで交流することができる

「高い志を持ち、次代を創造する人間の育成」を目指す

現代の諸問題の解決を目指すには、文・理を問わず様々な分野からのアプローチが必要です。普通科では幅広い教養を身に付け、各領域の知識を結びつける柔軟な思考力を持つゼネラリストを育てます。文・理の科目をバランスよく学びながら、1年次のSS研究基礎、2年次のSS研究発展Ⅰを通じて自分の興味・関心や適性など自己理解を深め、3年次に文型と理型のコースに分かれ進路実現を目指します。また、「地域医療を支える人づくりプロジェクト（医進類型）」を活用し、医学部医学科受験にも対応していきます。

次世代のリーダー
先進性に満ちた

ゼネラリスト

募集 160 名

普通科

求める生徒像

知識欲に富み幅広く
学ぶことを好み、自
己の求める課題を広
い視野で解決しよう
とする意欲ある生徒

1 年

文理融合「リベラルアーツ」、幅広い教養の獲得

2 年

柔軟な思考力と傾聴力、確かな学力、
自己の適性を見いだす

3 年

主体的に課題に向かい、解決できる力を養い、
グローバルに活躍できる実践力を身につける

医 類

文 型

理 型

法・政治学、教育学、文・人文学、社会・国際学
経済・経営学、芸術学系、生活科学

医・歯・薬・保健学



医進類型指定校

北海道教育委員会指定事業「地域医療を支える人づくりプロジェクト」

医学部を目指す生徒をサポート

全学科の生徒を
対象とします

3年次に医進類型を設置

- 数学、理科、英語等の授業で少人数指導を行い、きめ細かに学習を支援します。

医学部出前講義の実施（全学年対象）

- 道内医科大学の現役教授を招いて大学の紹介や医学等に関する講義をしていただき、生徒の進路実現に向けた学習意欲の高揚を図ります。

地域医療体験事業の実施（全学年対象）

- 函館で活躍する医師の講演や医療機関の見学などを通じて、地域医療の現状について認識を深めます。

メディカル・キャンプ・セミナーへの参加

- 医学部進学を目指す道立高校の生徒が
合宿学習を行うセミナーで、進路実現に向けた学力の向上
と医学部への進学意欲の向上を図ります。



札幌医科大学 医学部 医学科 A-TOPM
鈴木 陽大 本道中学校出身

中部高校は自由の校風を掲げています。自分で考えなければならないことが多い分、目標達成に向けて行動すれば可能性は無限大です。

また、進学校では珍しく部活動も活発であり、部活の仲間と切磋琢磨して人間性を磨きながら勉強に取り組み、希望校に合格する仲間がたくさんいます。僕も三年間バスケットボール部に所属しましたが、個性豊かな先生方の親切なサポートのおかげで塾なしでも医学科に合格することができました！

みなさんも刺激的な仲間たち、先生方とともに、人生で最も充実した三年間を中部高校で過ごしてみませんか？

ーを育む 教育プログラム

令和4年度から理数科を新設し1クラス40名を募集しています。理数科では理科・数学等自然科学に興味関心が高く、その専門性を生涯にわたって追求しようとする意欲ある生徒を求めています。1年次から理科や数学に重点を置いたカリキュラムで学習しながらも、普通科と共通した社会教養としての科目も履修し、幅広い教養や視点を身につけます。また、SSH事業の一環である講演会や各種研究施設、JAXA訪問（予定）などに参加し、様々な経験の蓄積や探究活動により理数分野のスペシャリストを育てます。

スペシャリスト

理数科

募集 40 名
(推薦枠 50%程度)

佳型

1年

数学・理科を中心に学問を横断的・多角的に
学び数理の基礎を固める

JAXA訪問!!

2年

自然科学・医理工学等の課題研究を通して
エビデンスをもとに思考を深める

3年

研究した証を論文として執筆し、英語で研究発表し
グローバルに活躍できる実践力を身につける

求める生徒像

科学的な事象に興味を持ち、数学や理科の専門性を高め、自己の求める課題を広い視野で解決しようとする意欲ある生徒

理・工・農・総合・環境・情報・人間学・スポーツ科学のスペシャリストへ



函中だからできるきめ細やかな進路サポート体制

進路支援

君たちの未来へ全力支援！

授業

授業は65分1日5コマです。基礎基本の定着を大切に、大学入試に直結したハイレベルな授業が展開されます。



講習・補習

講習は1コマ70分です。習熟度や志望進路に応じて、多彩なプログラムが用意されます。土曜講習や夏期・冬期講習など「個」にもしっかりと対応しサポートします。

授業



進路面談

生徒の意思を尊重し、1人1人の声に耳を傾け進路実現に向けて全力支援します。保護者と交えた三者面談を通して、家庭との連携も密に進めます。



全体指導 ハイレベルな授業、充実した進学講習・補習

個別指導 生徒1人1人に向き合った個別対応

教育改革への対応

拡大する学校推薦型選抜や総合型選抜等、特色ある入試への対応は、教育活動のあらゆる場面で身につけていくだけでなく、教師が生徒一人一人の進路活動をしっかりサポートします。「人材」の育成を目指す中部高校で「自分の強み」を見つめます。